



# 十二町っ子だより

学校だより 第10号  
令和8年2月19日  
氷見市立十二町小学校

## 支えてくださる地域の方々へ感謝を込めて

安全パトロール隊の方々やクラブ講師の方々へ、子供たちから1年間の感謝の気持ちを込めた寄せ書きを贈りました。

安全パトロール隊の方々は、年間6回、子供たちの下校に付き添ってくださいました。暑い日も寒い日も、子供たちを優しく見守ってください、大変心強かったです。

クラブ講師の方々は、子供たちが様々なレクリエーションや工作の楽しさ、伝統芸能の醍醐味を味わうことができるように、熱心に指導をしてくださいました。おかげで、子供たちにとって、有意義で貴重な体験活動となりました。どのクラブも地域の方々講師となり、協力して下さることは本校のよさと言えます。

今年度も地域の多くの方々を支えられ、子供たちは安全に楽しく学校生活を送ることができました。どうもありがとうございました。



## 練習の成果を発揮したなわとび集会

2月17日になわとび集会を行いました。まず、各学年の代表が模範演技を行いました。子供たちは得意とする技に意欲的に取り組み、

よさを発揮することができました。

個人種目では、前・後ろ跳び、自由種目、二重跳び系の3回の挑戦の場がありました。最後まで(二重跳び系は30秒間、その他は1分間)懸命に跳び続ける子供たちの姿が見られました。

団体種目では、これまで練習を重ねてきた8の字跳びに挑戦しました。練習開始当初は長縄に入ることをためらう子供も見られましたが、タイミングを教えたり、引っかかって「惜しい、惜しい」と励ましたりする場面も見られ、どのグループも記録が伸びました。跳んだ回数を数えながら一致団結して取り組むことで、どの子供も全力でやり遂げる心地よさを味わうことができました。

この集会を通して、子供たちは、体力や技術を向上させただけでなく、仲間と力を合わせることや、最後まで諦めず続けることの大切さを学びました。今後の学校生活にも生かしていくことを願っています。



## アクションプラン最終報告

学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。最終評価の結果を踏まえ来年度に向けてのプランや方策を検討していきます。

アクションプラン1	アクションプラン2
友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを分かりやすく話すことができる。・・・80%以上	相手の気持ちを考えた言葉がけや行動をすることができる。・・・80%以上
総合評価 B	A
総合評価 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持	
行動Ⅱの方策と評価 評価 A…目標達成に効果があった B…やや効果があった C…あまり効果がなかった	
<p>〈方策1〉【評価B】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話を聞く態度を向上できるように、「聞き方表」の中から重点を決め、具体的な行動目標を設定するとともに、ワークシートを活用し、自分自身の聞き方を振り返るようにする。</li> </ul> <p>〈方策2〉【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いや考えを分かりやすく伝えられるよう、友達につなげて話す、順序を工夫して話すなど、「話型」の中から重点を決め、具体的な行動目標を設定するとともに、ワークシートを活用し、自分自身の話し方を振り返るようにする。</li> </ul>	<p>〈方策1〉【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちが主体となって、気持ちのよい挨拶ができるよう、6年生や代表委員を中心に、挨拶に関する現状や課題を踏まえて方策を話し合い、実態に応じた目標設定を行いながら、挨拶運動を行う。</li> </ul> <p>〈方策2〉【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、帰りの会や学活等において、互いに認め合う機会を日常的に設定する。</li> <li>挨拶や相手の気持ちを考えた言動等、よいところをカードに書いて「十二町っ子ほかほかの木」に掲示することによって、互いを認め、大切にしようとする気持ちを高める。</li> </ul>
アンケート結果 ○%・・・「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の合計	
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や対話タイムで話を聞くことができた</li> <li>相手を見て・いい姿勢で ……児童 94%</li> <li>うなずきながら・笑顔で・終わりまで ……児童 96%</li> <li>授業や対話タイムで話すことができた</li> <li>全員に聞こえる大きさ・速さで ……児童 94%</li> <li>まず・そして・次に等を使って詳しく ……児童 90%</li> <li>家庭での対話タイムで「いつ、どこで、誰と」や理由や例え等を踏まえて詳しく話していた ……保護者 96% (内A評価 33%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をすることができた</li> <li>大きな声で・気持ちを込めて・積極的に ……児童 100%</li> <li>笑顔で・相手を見て ……児童 98%</li> <li>友達の気持ちを考えた言動ができた ……児童 100%</li> <li>友達のよいところを見付け、伝えた ……児童 100%</li> <li>子供は家庭で挨拶をしている ……保護者 100%</li> <li>子供は地域の人に挨拶をしている ……保護者 98%</li> <li>子供は友達の気持ちを考えて話したり接したりしている ……保護者 100% (内A評価 47%)</li> </ul>
次年度への課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「相手を見て」「うなずきながら」等、基本的な聞く態度を身に付けることができるよう継続して指導する必要がある。</li> <li>次年度は詳しく書く力を高めることができるよう、「話型」を生かして「書き型」等を作成し、授業の振り返りの書き方を工夫して指導していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶週間以外の期間でも、いろいろな場面で「気持ちのよい挨拶」ができるように、意識を高めていきたい。</li> <li>児童の日常会話の中に乱暴な言葉遣いや否定的な言い方が見られるため、相手を思いやる言動や場に応じた言葉遣い等、継続的に指導していく必要がある。</li> </ul>

## 学校運営協議会

2月6日に学校運営協議会を行いました。委員の皆様からのご意見を紹介します。

- アンケートの全項目において、「とてもそう思う」「だいたいそう思う」を合わせた評価（A B評価）の数値が伸びている。保護者アンケートでは「とてもそう思う」（A評価）が伸びているが、児童アンケートではA評価の数値が下がっている項目もあるので、引き続き指導することが大切である。
- 保護者へのアンケートの実施はよい取組である。子供が挨拶するにはまず、大人が手本となるとよい。大人も挨拶や対話は大事である。自分も言葉遣いや挨拶に気を付けていきたい。
- 相手のよさを見付けて「ほかほかの木」に掲示したり、放送で紹介したりすることを通して、思いやりの心を育てている。根底に思いやりの心があれば、相手の話を聞くこともできるのではないかな。
- 論理的に話したり書いたりする力を高めることが大切である。

来年度も学校運営協議会と連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えていきます。